

● もくじ	
第2回定例会	P 2
審議された議案と結果	P 2
一般質問	P 3
議案の審議	P 4
第3回臨時会	P 5
第4回臨時会	P 7
第5回臨時会	P 11
町長所信表明・副議長選出	P 15
議会の動き・計報	P 16
(表紙写真 保育所 りす組 七夕のつどい)	



令和2年第2回定例会（6月15日）

町長より以下2件の行政報告がありました

①特別定額給付金事業の対応について（第2報）

②農作物の生育状況について

議員より以下1件の一般質問がありました

①ウイルス感染症流行期における災害時対応について（3ページ参照）

審議内容は、以下のとおりです

<人事>

農業委員会委員の任命 (任期：令和2年7月20日 ～令和5年7月19日)	内尾 勝稔さん 辻野 始さん 前田 昌明さん 笠井 孝一さん 越後 功さん 行天 雄也さん 渡辺 雄一さん 齊藤 信一さん 菊地 光男さん	原案 同意	
--	---	----------	--

<報告>

損害賠償額についての報告	劣化した流雪溝の蓋による車両物損事故に138,820円を賠償	報告 済み	
--------------	--------------------------------	----------	--

<工事>

工事請負契約の締結について	目的：双葉配水管布設替工事 相手：後志建工・梅澤設備特定建設工事共同企業体 金額：5,720万円	原案 可決	
工事請負契約の締結について	目的：双葉配水管布設替工事 相手：株式会社北海建業 金額：9,350万円	原案 可決	

<令和2年度補正予算>

一般会計（第6回）	ウサパラ号エンジン故障による修繕料、代車借上料で265万1千円の増額（専決処分）	原案 承認	
一般会計（第7回）	授業用タブレット購入、火葬場工事、町長選挙費、住民基本台帳システム改修業務委託料、流雪溝蓋改修工事などで、5,162万4千円を増額	原案 可決	質問あり 4ページ

<公共施設>

公の施設の利用に関する協議について	留寿都村火葬場の老朽化や使用実態を踏まえ、喜茂別町の火葬場を共同で使用	原案 可決	
-------------------	-------------------------------------	----------	--

<財産貸付>

普通財産の貸付について	財産：郷の駅商業施設 期間：契約の日から令和12年3月31日まで 価格：令和2年度から令和3年度まで 免除 令和4年度から令和11年度まで 年130万円 相手：株式会社ホッときもべつ	原案 可決	
-------------	---	----------	--

<関係行政庁への提出>

林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書	提出者 阿部議員 賛成者 館内議員 小川議員	原案 可決	
地方財政の充実・強化を求める意見書	提出者 小川議員 賛成者 山下議員 阿部議員	原案 可決	



一般質問 要旨



ウイルス感染症流行期における災害時対応について



岩部 剛議員

岩部議員

新型コロナウイルス感染症流行期の状況下において、もしも地震、水害などの災害が起こった場合、避難所におけるウイルス感染のリスクが、非常に高まることが考えられる。

災害から身を守るための避難行動によって、自分の身を感染症の危険にさらしてしまうことになると思われる。

新型コロナウイルス感染症流行期における、自然災害時の避難のあり方、避難情報の周知について、町長の考えを伺う。

菅原町長

災害時には避難所に多くの方が集まり、いわゆる密状態となることから、感染リスクを低減するために、安全な場所にお住まいの方は自宅待機いただき、被害を受ける可能性のある方は、避難所に限らず日頃から安全な地域の親族や知友人宅に避難することも考えておいていただきたい。

また、家庭における日頃の備えとして、水や食料の他、マスクや消毒液など感染症対策を意識した災害備蓄品を用意しておくなど、「自助」「共助」を心がけ、準備しておくことが大切と考えている。

避難所における感染症対策については、町職員を中心に次のとおり対応することとしている。

1点目は、非接触型体温計を常備し避難者の体温を測定し、発熱や風邪の症状がある方につ

いては、症状のない方とは別の場所を用意し、保健師、医師の指示を受ける。

2点目として、石けんやアルコール消毒液、マスク等を常備し、衛生面を徹底する。

3点目として、家族などを単位として避難者同士の間隔を広げ、パーティションやテントなどを用意し、ウイルスなどの飛沫感染防止対策を行う。

4点目として、今後の施設改良が必要だと思われるが、換気に努めることや空気清浄機の使用によって空間清浄のより良い対策を実施することになると考えている。

その他、本町には多人数利用の福祉施設があり、入居者の個人差も大きいことから、各施設に留まっていたいただき、施設ごとの感染対策を町が支援する。

ただ今申し上げた対策については町民の総じた理解が必要なので、あらためて感染を防ぎな

がらの避難についてお示しいたと考えている。

なお、情報伝達については、これまで同様に、IP告知端末やアプリによって天候の状況、避難指示・命令や避難場所の情報発信するとともに、広報車を活用し、迅速で正確な情報伝達に努める。

災害時には、役場や国、北海道が実施する「公助」には限りがあることから、町民皆様の日頃からの準備や、家族、親族や知人、町内会等での「自助」「共助」が重要となる。

それぞれの役割を果たし町民皆様の生命・財産を守っていくためにも、日頃からの準備をお願いするところである。

日頃から感染症にかからないよう努めることを第一とし、「公助」を待つことなく迅速な対応をお願いし、行政としても他の事例を参考にしながら、議員の皆様のご指導を仰ぎ感染症対策と共存できる社会を築いてまいりたく、町民の皆様のご理解を賜りたい。

議案の審議要旨

令和2年度喜茂別町一般会計
補正予算（第7回）

小川議員

鈴川小学校の児童に対しては一人につき1台タブレットが支給されていると認識しているが、今回の備品購入費の3百70万円で、喜茂別小学校と喜茂別中学校の児童・生徒に対しても一人1台タブレットが支給されるのか。

夏休みが短縮ということだが、短縮する期間はどれくらいなのか。

丸屋教育次長

喜茂別小学校、中学校とも今回の台数で一人1台あたるということになる。

夏休みは、小学校、中学校とも、通常25日間休みだが、2週間程度短縮する。

小川議員

タブレットは、生徒が家に持

ち帰って自由に使用できるのか。
Wi・Fiが整っていない家庭に対しては、町からポケットWi・Fiを貸し出すのか。

丸屋教育次長

タブレットについては、基本的には学校で使用するという考え方である。

今回コロナウイルスの関係でインターネットの学習をした際は、学校のタブレットを貸しているの、家で使用するということもあり得る。

Wi・Fi環境のない家庭については、町からポケットWi・Fiを貸し出すようになると思う。



パソコン（リモート学習）

山下議員

郷の駅管理費に、デジタルサインージシステム使用料3万9千円がある。

前回の臨時議会で交付金をもとに購入し、あまりお金をかけない形で運用すると理解している。
この使用料はなんなのか、定期的に発生する金額なのか。

大元産業振興課長

本年度において7月から9ヶ月分で3万9千円、来年度以降については12か月分を計上する形になる。

以降の経費等は、その都度お示ししていきたい。



デジタルサイネージ



野外授業の様子



※デジタルサイネージ（Digital Signage）とは、表示と通信にデジタル技術を活用して平面ディスプレイやプロジェクトなどによって映像や文字を表示する情報・広告媒体のこと。

令和2年第3回臨時会（4月20日）

町長と教育長より以下3件の行政報告がありました

①クレードル興農株式会社資本金の減少について

②新型コロナウイルス感染症への対応について（第2報）

③新型コロナウイルス感染症への対応について（第2報）（学校等の対応について）

審議内容は、以下のとおりです

＜令和元年度補正予算＞

一般会計（第13回）	除排雪経費の減少により特別交付税が減額されたなどの理由で327万4千円を減額（専決処分）	原案承認	
介護サービス事業特別会計（第3回）	新型コロナウイルス感染症に伴うデイサービス利用収入の減少等により、給付費等を40万円減額するとともに、繰入金金を40万円増額（専決処分）	原案承認	

＜令和2年度補正予算＞

一般会計（第1回）	新型コロナウイルス感染症対策としてマスク1万枚購入、分散登校用ジャンボタクシー借上げのため82万4千円増額（専決処分）	原案承認	
一般会計（第2回）	新型コロナウイルス感染症対策としてマスク1万2千枚購入、分散登校用ジャンボタクシー借上げ、プレミアム商品券発行補助金助成、給食費3か月分保護者助成などのため626万1千円増額	原案可決	質問あり 下段参照

＜条例改正＞

国民健康保険税条例	国民健康保険法施行令の一部改正に伴い、保険税賦課限度額を58万円から61万円に変更等	原案可決	
-----------	--	------	--

令和2年度喜茂別町一般会計 補正予算（第2回）

小川議員

蘭越町では町民一人一人に使い捨てマスク10枚を無償配付する新聞報道があった。

本町では、町民一人一人に対してマスクの無償配付は検討されているのか。

林総務課長

本町では、商工会・医療関係・福祉施設等大量にマスクを使用する事業所において、購入が来ない状況が続いていたので備蓄マスクを配付した。

個人用については現在ドラッグストアやインターネットで購入できる状況となっているので、今のところ配付しない予定である。

ただし、町内に感染者が発生した場合には、検討していかなければならぬ状況になると考えている。

小川議員

マスクの在庫数として、これだけ備蓄しておきたいという具体的枚数はあるのか。

林総務課長

（町民）2千人について、一人10枚という計算でいくと2万枚を確保することが、適量な枚数ではないかと考えている。

小川議員

給食費の無償化について、早い自治体では4月分から順次実施していくという報道があったが、本町では、いつから実施する予定であるのか。

丸屋教育次長

一時支払って頂いた後、還付するという形をとるように考えているので、早くて8月での還付になると思う。

山下議員

プレミアム商品券は、今回も小売店が負担する割合があるのか。

内村副町長

これまでではプレミアム率が20%で行っていたが、今回は、町が助成をして、これまでの倍の40%のプレミアムを付けるということで商工会と協議をして

いる。

ただ、商店の負担金については、これまで同様に負担をして頂くということで考えている。

山下議員

小売店の負担率について何かを教えて頂きたい。

また、そのプレミアム商品券を買った方は、1万円で1万4千円分の価値があるのでお感
は非常にありますが、大きな目的は小売店をサポートすることだ
と思うので、小売店の負担を今
で以上に減らす必要が私はある
のではないかと考えているがど
う考えているのか。

内村副町長

これまでのプレミアム商品券は各商店から、その売り上げに乗じて5%頂いていた。

ただ今回は、ご指摘のとおり小売店の経済状況の悪化といっ
たところもあり、今調整をして
いる。

2%程度の形で負担金はいた
だくが、これまでよりも若干、
軽減をした形で負担をして頂
こうと考えている。

山下議員

検討して頂いているのが良
分かったが、できたら0%ま
で下げた方が小売店をサポート
するという本来の目的が達成
されるのではないか。

内村副町長

ご指摘の部分の踏まえ、又、
商工会等とも協議をしたいと思
う。

議会情報公開の状況

令和2年7月28日喜茂別町議会情報公開審査会が開催され、平成30年度、令和元年度の公文書開示請求の状況や、異議申し立ての状況について審議されました。

結果については、以下のとおりです。

○公文書開示請求の決定状況

	開示請求件数	請求に対する決定等			
		公 開	一部公開	非公開	取消し
平成30年度	1 件	1 件	0 件	0 件	0 件
令和元年度	1 件	1 件	0 件	0 件	0 件

○異議申し立ての状況

	異議申し 立て件数	異議申し立てに対する決定等					審査会 開催数	審査会 答 申
		棄 却	容 認	一 部 容 認	却 下	取下げ		
平成30年度	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
令和元年度	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件

令和2年第4回臨時会（5月14日）

町長と教育長より以下2件の行政報告がありました

①新型コロナウイルス感染症への対応について（第3報）

②新型コロナウイルス感染症への対応について（第3報）（学校等の対応について）

審議内容は、以下のとおりです

<計画変更>

喜茂別町過疎地域自立促進市 町村計画の一部変更について	以下4事業を計上 ・新規就業促進事業 ・知来別橋外橋梁補修事業 ・生ごみ堆肥化施設改修事業 ・火葬場火葬炉改修事業	原案 可決	質問あり 下段参照
--------------------------------	---	----------	--------------

<条例改正>

町税条例等	未婚のひとり親に対する税制上の措置及び寡婦（寡夫）控除の見直し、所有者不明土地等に係る固定資産税の課題への対応、地方たばこ税における葉巻たばこの課税方式の見直しなど	原案 可決	
町税条例	新型コロナウイルス感染症等に係る徴収猶予の特例、固定資産税等の軽減措置など	原案 可決	
固定資産評価審査委員会条例	法律名変更への対応と法改正に伴う引用条項の整備	原案 可決	

<令和2年度補正予算>

一般会計（第3回）	新型コロナウイルス感染症対策により自主休業若しくは営業時間の短縮を行った事業主へ20万円給付、特別定額給付金給付、郷の駅ホッとときもべつ駐車場拡大などで2億4,230万4千円を増額	原案 可決	質問あり 下段参照
-----------	--	----------	--------------

喜茂別町過疎地域自立促進市
町村計画の一部変更について

松橋議員

火葬場の火葬炉の改修に伴って、火葬場の携帯電話の電波の改善は検討しないのか。

木下総務課長補佐

携帯電話各社より年に一度調査がきており、その時に電波の状況が悪い地域の報告をして、事業者の方で都度整備しているという状況である。

令和2年度喜茂別町一般会計
補正予算（第3回）

小川議員

新型コロナウイルスの関連で3月の定例会で町内の中小企業に対して町で独自の支援や制度は考えていないのかという質問をした。

あれから2か月が経ち、道からの休業要請に協力した飲食店に対しては支援金が出るが、小売店には出ないということ、町内に大変な思いをしている事業者の方が数多くいると思う。

近隣町村でも、一律で業者に

対して支援金や補助金の現金支給をするという報道が増えてきていると思うが、本町は町独自の緊急対策や考え方について、3月の時点から変わりはないのか伺いたい。

菅原町長

今回3百20万円を計上しているが、1件あたり20万円ということをやっている。

飲食店が閉めざるを得ないという場合もあるので、そういう所への支援ということである。

プレミアム商品券は、他町村と比較しても高い率になっており、一定程度の全般にわたっての効果は出るかなという感じはしている。

ただそれだけで足りるとは思っていないが、一助になればということである。

いろんな形でお金を出していくことはコロナウイルス対策として、非常に大事なことだと思っているが、今後、予想される北海道という第3波、第4波の関係があるので、ここで慌ててということよりも、きちっと見させて頂く。

特に心配になるのは、秋の収

穫期を迎えて、農産物等についての価格の問題も見えていかなければならないと思っている。

コロナウイルス対策については今後、恒常的な努力、優先的な努力が必要なのではないかと捉えているので、ご理解を賜りたい。

松橋議員

郷の駅ホッときもべつの外構工事で6百60万円が計上されている。

駐車場が広くなるということだが、当初の話だと内装の方もやるということだった。

いつ頃オープンを目指しているのか。

新しく会社が設立されたという話を聞いたが契約等どのように進んでいくのか。

大元産業振興課長

第1回の定例会で補正予算の可決を頂き、所有権移転登記の手続きは終了している。

その後、商工会長、観光協会会長を中心に色々と検討を頂いており、新会社として「株式会社ホッときもべつ」という会社の登記が完了していると伺って

いる。

外構工事で駐車場の整備を今回の補正予算に計上している。

内部の改修は、現在最終的な詰めを行っているところだが、改修については、建設後10年が経過している観点から、経年劣化による部分の修繕を基本として、屋根部や内部のクロス、空調、照明の一部LED化などの実施を、現在考えている。

また、観光情報を発信するブースを設置して、地域情報を発信したいと考えている。

土地や建物の賃貸借の契約に関しては、現在のところまだしていないので、詳細については運営事業者と調整をしていきたい。

株式会社ホッときもべつからは7月のオープンを目指して準備をしていると伺っている。

松田議員

補正予算とは何ぞやという、その根源的な問いに答えてもらいたい。

ホッときもべつの外構工事の6百60万に関して、当初予算の時から財源はあるのか。

そして、これはあくまで政策

予算としての性格があるはずだ。

なぜこんなことを聞くかという、そもそも公設民営の名の下に、この施設を町が取得したことに關して、疑義をもっているし、この議案に反対してきた経緯もあるから、この種の問題が議会に提案されれば、ストンと議決に加わっていけない。

臨時議会に、この種の政策予算を出してやるのが常態化している思いで仕方ない。

おまけに今年は7月に理事者の選挙がある。

この外構工事が不要不急に当たるのか聞いたら、どう答えてもらえるのかという気もある。

そもそも根源的なもので、補正予算とは何ぞやという問いに答えていただきたい。

菅原町長

言われていることはその通りだと思っている。

予算としては3月に本予算として、それを肅々と執行していくことだろうと思っている。

その中で緊急性があり、必要と思われるものについては補正予算として出していくことだと

思う。

確か3月の段階では、あそこを買うという予算を出させていただき、直していくという話もさせて頂いた。

オープンにあたって、交通安全上の問題は、急がなければならない。

新型コロナウイルス関連での特産品の販売については、交付金等も用意されているので、国のお金を使いながらやる事が出来るのではないのかということろまで来ている。

それを今月末にまた臨時会を開いて議論をしたい。

その時に、今言っていたこの問題はそれぞれの議員の皆様方にも考え方があってということなので、議案を分けて提案することとを考えていかなければならないと思っている。

松田議員

提案の動機に関しては色々あると思う。

しかし、結局運営をする会社の問題もあると思う。

公金を使って整備をするということになるなら、会社の事業計画等を、議会に対して明らか

にして貰わないといけない。

こんなことは、私は何度も言っている。

このことによつてどれだけの、事業計画にプラスになるのか、町民の前に明らかにしないで、ただ予算だけが必要とするような行財政運営の在り方は、何処かで歯止めをかけるべきだ。

こういうものは、過去にもあった。

ふるさと納税の財源がまだ残っている、コロナ対策とリンクした中でいくらでも出してくる。

そんな財政運営をやっているたらどんなことになっているのか。

こういう疑問に、もう少し詳しく答えて頂きたい。

菅原町長

あまり決めつけたような言い方をされても困る。

今回、出したものについては、環境整備という点では絶対にやらなければならない。

計画が無ければ、皆様方にも議論を頂けないと思うので、それは求めている。

私共としても経営内容まで出るだけ精査していきたいと思っている。

臨時会が駄目だということかもしれないが、そうはならないと思うので、また提案して説明だけはさせて頂きたい。

松田議員

決めつけたようなものの言い方をするという指摘だが、それは当たらないと思う。

議会に議席をおいて30年経つが、ずっとその問題をテーマにしてやってきている。

だから、失敗を教訓にして、その反省にたった運営をして貰わなかったら、泥沼式にまた中山峠の二の舞になるのではないかという町民の指摘が沢山ある。

そのことを、やっぱり強く主張しておかなければならない。

受入先の株式会社ホッときもべつが、どういうコンセプトによつて、どういう事業計画をもっているかぐらいは、町民の前に明らかにし、議会の前に明らかにして初めてこの議論が成り立つ。

コロナとの連動でことが足り

るような話ではない。

7月にオープンするというが、正直いつてできない。

そういうことの積み重ねが、要するに物事を悪化させていく原因になる。

7月に町長選挙がある。

町長がその後、誰になるかはまだ分からないのだから、断定的にそういうことは、厳につつしんで貰いたい。

菅原町長

つつしめということであるが、これはずっと私が抱えてきた問題なので何とか7月21日までの任期で整理はしたいという努力はしているつもりである。

それを次の方に引き継いでいくということには、私はならないのかなと思っている。

この話は、ずっと前からあって、それは私共の遅れてきた責任もあるかもしれないが十分なインターバルを取ったつもりでいた。

だから議会の皆様にも早い段階からお話を申し上げてきた。そういう経過があることは皆さんもご存じのことだろうと思っている。

それから、これまでもどこ

かの段階でご指摘頂いたが本町の中で森林組合の問題があるだろうと、こういうものを勉強して様々な事業をやれという話も伺っている。

そういう点では、かなり厳しく受け止めながら事は進めているつもりであるが、その厳しさが遅れている原因になっているのかもしれない。

いずれにしても皆様方の前に、どうやっていくんだということとは提示して頂けるよう鋭意務めて参りたい。

菊地議員

郷の駅は町の商業地域チャレンジ事業における中心的施設である。

駐車場、農業関係、売店を含めて整備が必要であれば議会に對して理解を求めていく、こういう部分が個々発生してくるのではないかと思う。

本町は財政豊かな町ではないから、如何にしてその財源をどこに求めるかということをお慮しながら今後進めて行くことになろうと思う。

議会の議決を求めることは大

事だが、その前に提案を説明して理解を求めていくという姿勢が大事ではないかと思う。
町長の考えを聞きたい。

菅原町長

この機会を逃すと、大変なことになると思っている。

町民が誇りを持てる施設になってもらいたい。

財源を逐一探して歩くというのも我々の大きな仕事だと思っている。

国や道あるいは関係官庁からご意見や支援を頂きながら、皆様方に納得頂けるような形にもっていききたい。

3月の定例会では、ふるさと納税を使うということに反対のご意見も頂いたので、できるだけ使わないようにしたい。

この臨時的な地方創生の交付金についても、有利なものがあれば、使っていくということも一つではないかと思っている。

臨時議会であっても、積極的に出していきたい。

最も良い方法を皆様方にご提案したいと思っている。



郷の駅 ORTO



改修工事後の郷の駅外観



ウポポイは、アイヌ文化復興等のナショナルセンターです。
ウポポイ（民族共生象徴空間）は、北海道白老町（しらおいちょう）ポロト湖畔に誕生したアイヌ文化復興・創造拠点で、2020年7月12日オープンしました。

愛称「ウポポイ」は、アイヌ語で「(おおぜいで) 歌うこと」を意味します。

喜茂別町議会は「民族共生の未来を切り開く」決議を議決しており、ウポポイとその活動を支援しています。

令和2年第5回臨時会（5月27日）

まず、町長より以下1件の行政報告がありました

①特別定額給付金事業の対応について
審議内容は、以下のとおりです

<令和2年度予算>

一般会計（第4回）	新型コロナウイルス感染症対策としてオンライン授業用設備、リモートワーク環境構築業務委託料、町立クリニック改修工事、特産物直売センター改修工事、役場庁舎空気清浄機購入等のため1,029万1千円増額	原案可決	質問あり 下段参照
一般会計（第5回）	郷の駅ホッとときもべつ商業施設の風除室自動ドア増設、屋根・壁板金部塗装、クロス張替、エアコン設置、デジタルサイネージ設置等の工事のため1,491万6千円増額	原案可決	質問あり 下段参照

令和2年度喜茂別町一般会計
補正予算（第4回）

山下議員

リモートワーク環境構築業務委託料50万円とあるが、これはどういったところに、どういった内容のことを委託するのか。

木下総務課長補佐

役場内で感染者が出た場合、全員が休むことができない状況になるので、分散して職員が役場に来て、またはその外で、在宅勤務や空き施設で仕事が出る環境を整備するものである。

山下議員

どこに発注するとか、どういった環境の構築という具体的な内容はまだ決まっていないということか。

木下総務課長補佐

どの施設を使うかは決まっていないが、どこの施設でも使えるようにするという整備方法である。

菊地議員

今回の補正予算は、コロナ対策の対応、地方創生臨時交付金の実施計画に基づく補正だと理解をする。

今後この計画に基づく本町が予定しているコロナ対策事業について、どんなものが想定されるのか伺いたい。

林総務課長

新型コロナウイルス感染症の今回の実施計画は約17項目あり、第1次で国に申請をしている状況である。

計画の内容でいくと現在は4千2百80万円を予定している。

今後第2次で2兆円規模ということだが、この計画も変更は可能なので、次から例えばクリニックや商工関係や、いろんな部分があった場合に、国や道にこの計画書の変更をかけて参りたいと考えている。

令和2年度喜茂別町一般会計
補正予算（第5回）

松田議員

今回の臨時議会の補正予算を

2つに分けたのはなぜか。

菅原町長

前回の臨時議会ですういう要望と思って分けさせていただくと答えたのでそのとおりにした。

松田議員

前回の臨時議会の補正予算の時にそのような主旨で申した訳ではない。

前回、郷の駅の整備計画費6百60万は商工観光費で予算計上したが、果たしてその緊急性があるのか、臨時議会の議決を求める事になじむのかという主旨で申し上げた。

今回は同じ総務費でコロナの対策費で別に分ける必要は何もない。

この辺に見解の相違があるのかなと思う。

現実に先週の臨時議会で緊急を要するという事で議案提案して議決した工事は全くやっていない。

緊急性があったのかどうかというところがひとつの焦点になる。

それとも緊急性がないということの理由の中に、当初予算として予算編成することを忘れて

いたのか、それとも当初予算編成後に重大な状況の変化があったのかどうかということの前回は聞いた。

表現は悪いが、どさくさまぎれに工事請負費の6百60万を臨時議会の補正で同じ議案に出すなどという主旨のことを私は言ったが、そのことを理解してもらえるか。

菅原町長

3月で出したのは土地の売買の関係なので、同時に外構等について出すということではなく、そこが決まらなければどうにもならない。

ただ駐車を直すという話ではなく、段階を踏んで工事をやるということなので、それは3月の段階でも話をしたが予定どおりである。

工事をやっていないじゃないかということだが、公示期間が必要であり、明日入札がある。

工事はそれから何週間か後にやるという格好になるかと思う。

オープンにできれば間に合えばな思っている。

もう一点は、コロナウイルス

対策の関係である。

今回雇用も含めて新たな農業者の方々もそこで商売をされるということ、これはもうまさにコロナ対策の経済対策の一環としてはまっているので、基金の方は手をつけないで、国から全面的に応援していただこうということでご掲載した。

もうすでに北海道とも協議をして、いろいろ指導をいただいで、ほぼ間違いないということでご我々も出した。

以前から申し上げているとおり、ふるさと納税の基金から出そうと思っていたが、もう一つはコロナウイルス対策の項目でまともておくという必要があるので、こういう分け方をさせていただいた。

厳しい財政の状況は以前から指摘があり、そういうもののつとつて対策を組んでいこうと計上しているので、ご理解を賜りたい。

松田議員

理解ができないわけじゃないが、この施設に対して前のめりという町の姿勢に対して、非常に危機感を感じる。

大元産業振興課長

デジタルサイネージの設置は、今回の工事では本体や放送するための機器等を整備するという形になる。

放送する内容については、別途作成をしたり、またはDVDを借りたり、必要に応じては購入ということもあるかもしれないが、一応そういった形で準備をしている。

山下議員

効果的な観光情報を提供するためには、それなりの専門的な知識を有するところに委託するなどしないと難しいのかなと思うが、どう思っているのか。

大元産業振興課長

観光の情報については、本町の情報はもとより、羊蹄山麓、後志管内また近隣といったところからも、ソフト等ご提供いただけるところはいただきたがから、そういったものを流していきたい。

現在のところ、整った形のものを作成して、それを放送するといったところまでは想定はし

感染拡大の影響を受けている

地域経済や住民生活を支援する地方創生交付金に果たしてこの支出がなじむのかという問題は、誰しもが疑問を持つと思う。

こういうものを飛び越えて、交付金をそのまま財源に充てて整備していくというやり方が、果たして町民にきちんと受け入れられるのかどうかという問題も吟味しなきゃならない。

交付金の申請を振興局経由でやると思うが、どういう申請内容であったのか、我々が目にすることは可能なのか。

木下総務課長補佐

交付金については、参考資料に計画書がついている。

事前申請という形で計画書をあげて、振興局から北海道、北海道から国のほうに回つていき、最終的に承認されたら、本申請という流れになると思う。

この計画書を出すにあたっては、1週間程度の期間がない中で、まともて出すようにと指示があったので、それぞれの課に聞き取りをして、この計画書にまともて振興局に提出した。

ていない。

菅原町長

2台の設置を予定していて、1台はおしゃべり回覧板がそのまま見られるという形をとっていききたい。

本町のICTの進化を体現していただくということである。交通情報、天気予報、本町の情報へ全道の峠の映像等も入る。緊急情報もそこに入ってくるということで、本町ではもうここまで進んでいるということも表明したい。

もう1台については、喜茂別町という立地は276号線、230号線を持つているというところで、今、様々な市町村と連携をとっている、動画、あるいは静止画等を紹介する。

極力、本町としての戦略でお金をかけるということはあまり考えなくてもいいのではないかなという気はしている。

開発局とも話をしているのだが、非常に重要な道路であるので、今ウポポイのオープンが遅れているが、そういう情報も流していく。

あるいは道南への出入り口と

内村副町長

インキュベーション促進活用対応等空き店舗活用等事業というのが国の内閣府で臨時交付金の活用にあたっている。

国のほうで示している活用事例集があり、その中の85番目の項目として、このような形のものについては、今回の交付金が使えろというような意味合いで国の方からも示されている。

松田議員

例えばコロナの蔓延の問題がなかった場合は、郷の駅の整備計画はどういう財源をもって整備しようとしていたのか。

内村副町長

この交付金が仮に、こういったものが対象にならないといった場合については、従前より説明をしているとおり、ふるさと納税の一部を使用して整備に充てるという考え方である。

山下議員

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施計画では、交付限度額が3千6百32

して、そちらの方とも連携していくということ、様々な情報を重ねた上での映像作成ということにはなるが、ネットで繋がっている、そういう情報を入れるのは、役場内でやっていく形をとっていただければなと思っている。

ただ、今後そういうものを持つていけば、様々な宣伝活動には繋がっていくかもしれない。

観光というものの形が変わってくるだろうし、あるいは中には営利を認めるのであれば、旅館の説明等が流れてくるかもしれない。

そういう形で、まずは情報発信の場は作って置いておく必要はあると思っている。

菊地議員

前回の議会でも私が申し上げているが、普通なら町有の施設を民間企業に貸す場合に、改修事業は、町がいろいろ財政を通してやることではないと思う。

今回の郷の駅の商業施設は町がどういう形で経営をしていただきたいのか、運営会社と再三にわたって、情報交換がされて

いる。

ある程度町の姿勢に沿った形の中で、事業展開してほしいという観点から、いろいろな改修等が発生していると私なりの理解をしている。

その辺の考え方について伺いたい。

大元産業振興課長

今回の改修工事は建物が建設されてから10年経っているという部分での全体的な長寿命化を図る目的、町としての魅力向上につながるようなもの、ということと整理をしている。

運営事業者となる方々との話し合いをして、そちらからの意見なども参考にしながら整理をしてきた。

菊地議員

全体はそういう形であろうかと理解はするが、中身を見ると、本来ここまでやらなくていいのではないかというところも含まれている。

コロナ対策の財源が発生して、それで出来るということで、言葉は悪いが、この際そういう形のものを含めて行うという形の

ものを事業計画にあげたと私は理解している。

本来、ふるさと納税を使つてやる場合には、そこまでやらなかった。

こういったメニュー事業で出来るということの理解の下に、これは事業化して今回の補正予算に結び付けている、という理解でいいのか。

菅原町長

当初はかなり厳しく見ていたが、野菜を売りたいという方々が30名くらい集まった。

そこからどれくらい本格的に売るのはわからないが、そういう点では我々としては、そんなにいないのではないかとこの予算組みをしていた。

ただ、こういうコロナウイルス関係でなんとか皆がんばっては、野菜生産してください、あるいは、生活の糧にしてくださいという、そういう現場を作るという点では、対象になつていないので、そういう点では少し予算としては大きくなったという風に理解をしていただければ大変ありがたい。

ただ、要求された物を10

0%見ているという話では全然ないので、かなり厳しいやり方はした。

住民がどう使うのかということとを第一の条件として我々は考えてきた。

企業の方には多少不満は残つただろうが、そういうやり方で住民の理解を得ながら、やっていく企業になつていただければと願っている。

館内議員

郷の駅ホッとときもべつ商業施設運営企画書で、地代家賃等百80万円を数年間免除いただきましたという願いが出ていますが、実際にそのようにするのか。

菅原町長

コロナウイルスの関係では、コンビニの平均的な落ち込みは、例年から比べても、交通客が中心であり、3割4割落ちていくというような状況である。

生活様式まで変わってきているので、今までと同じような対応ではなかなか軌道に乗るのは難しいのではないかという思いもしている。

この辺もきちつと計算をし

て、どのぐらいがいいのか、対応して参りたい。

回復するまでに1年なのか、5年なのか、10年なのか、こういう数字も含めて、考慮していかなければならないというようなこともあり得ると思つていて、ご理解賜りたい。

館内議員

今までの経過について、町民は新聞報道等でしかわからない。

中身がどうなっているかわからない。

町民から度々どうなっているのかと聞かれるが、話していいのか悪いのか、あまりこの問題には触れないようにしていた。町の広報で特別版を出せないのか。

菅原町長

すぐには出せないと思うが、次の広報あたりに、皆さんに読んでいただけるように考えていく。

町長 所信表明

ともに喜び 笑顔広がるまちづくり



内村町長

8月11日開会の第6回臨時会で、内村新町長の所信表明が行われました。

主な内容は次のとおり。

これまでの社会・経済の常識から、新型コロナウイルスとの共生を図りつつ新たな社会経済構造の創出が不可欠。

この度の選挙において、「ともに喜び 笑顔広がるまちづくり」をテーマに、「集落を笑顔に」「地域経済を笑顔に」「働く人を笑顔に」「子どもたちを笑顔に」「みんな笑顔でまちづくり」の5つのことを目標に掲げてきた。

この目標の達成には「多くの町民が手を携えてまちづくりに取り組む」ことが必要であり、

議員・町民、町職員がワンチームとなつて対応することが大切。

まちづくりに関する情報の共有が欠かせないと考え、情報共有のための仕組みづくりについて検討を進めたい。

また、町の発信力を高め、地域外の人たちにも、まちづくりに関わってもらう中で、まちづくりを学び、体験し、活かすといった関係人口の拡大を図る取り組みが求められていると考えるところ。

コミュニケーションの基は「笑顔」であり、どんな局面にあつても「笑顔」を絶やすことなく、信じた道を続けることで必ずや道は開けるものと考ええる。笑顔を決することなく多くの皆様に喜ばれ別町のまちづくりへのご協力とご支援をお願いするとともに、変化に柔軟に対応していける自治体運営を目指してまいりたい。

副議長選出

松橋副議長の逝去を受け、8月11日開会の第6回臨時会で新たに菊地光男議員を副議長に選出しました。



菊地光男副議長

なお、菊地副議長は、後志広域連合議会議員も兼務します。

議会傍聴される方へのお願い

- 手洗い・咳エチケット・マスク着用
- アルコール消毒液での手指の消毒
- 体調がすぐれない方は傍聴をご遠慮願います。

皆様のご協力をお願いします。

次の定例会は
9月下旬を予定しております。
町民の方の傍聴をお待ちしております。

日程は、IP告知端末又は議会事務局
(TEL 33-2217) で確認ください。

議会の動き

令和2年5月1日～令和2年8月11日

月	日	行 事	出席者	場 所
5	7	議会広報編集委員会	全委員	
	12	議会広報編集委員会	全委員	
	14	第4回臨時会	全議員	
		議会広報編集委員会	全委員	
	27	第5回臨時会	全議員	
		総務常任委員会	全委員	
6	9	議会運営委員会	全委員	
	15	全員協議会	全議員	
		第2回定例会	全議員	
	25	羊蹄山ろく消防組合議会臨時会	組合議員	
		羊蹄山麓環境衛生組合議会臨時会	組合議員	
7	13	後志総合開発期成会要望活動	議長	ニセコ町
	22	羊蹄山ろく消防組合議会臨時会	組合議員	
	28	議会情報公開審査会	議長	
	30	後志総合開発期成会要望活動	議長	札幌市
	31	喜茂別町戦没者追悼式	議長	
8	3	議会広報編集委員会	各委員	
	6	羊蹄山麓町村議会正副議長会議議長会議	議長	倶知安町
	7	全員協議会	全議員	
		議会広報編集委員会	全委員	
	11	第6回臨時会	全議員	
		議会改革調査特別委員会	全委員	



臨時会で
黙とうを捧げる

松橋正樹副議長が7月11日にご逝去されました。
松橋副議長は平成23年の選挙で初当選され、現在3期目で、後志広域連合議会議員も兼務されていました。
心よりご冥福をお祈りするとともに、町民の皆様へ謹んでご報告をいたします。



松橋正樹副議長逝去

計報